

新年のご挨拶



院長
西本 健

皆様、明けましておめでとうございます。旧年中は住友別子病院に対して、格別のご高配を賜りまして誠にありがとうございました。厚くお礼申し上げます。本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、三月から開始したオーダリングシステムは、大きなトラブルもなく導入されました。四月には腎臓内科専門医を迎え、その方面の診療体制を充実させることができました。また、五月一日施工された健康増進法に先立ち、四月一日から病棟全域禁煙、外来区域分煙を開始しました。第五回CS研修会（四月二十四日リーガロイヤルホテル）では、禁煙の会代表世話人大橋勝英先生に「たばこは死

向品 喫煙はゆるやかな自殺・他殺」と題して、禁煙の必要性をご講演いただきました。お陰でその後禁煙に成功した職員もいますし、皆様のご協力により院内がいくらかきれいになったように思います。また皆様に長い間親しまれていたナースキヤップが合理的科学的理由により廃止となりました。

五月には看護週間がイオン新居浜ショッピングセンターくすのき広場で行われ、引き続き本年も開催される予定ですので是非お立ち寄りください。

五月末には院長の三原せんつせいとその激務を全うされ無事定年退職されました。六月からは西本が引き継いでおり、三原前院長の地域医療への熱い思いを継承していきたいと考えております。

また当院は昨年五月二十一日に創立百二十年を迎えることができました。これはひとえに皆様方のご厚情の賜と感謝しております。これを記念して例年六月に行っている病院公行事にかえて百二十周年記念行事を行いました。

九月には回復期リハビリテーション病棟を立ち上げ、家庭内復帰、社会復帰を目指した、生活により密着した訓練を行えるようになりました。また緩和医療チームも発足し、麻酔科医・神経内科医・臨床腫瘍医・薬剤師・看護師・メディカルソーシャルワーカーがチームとなり、患者様の様々な精神的・身体的症状・ストレスの緩和に向けて力を結集いたしてまいります。

十一月には看護部が中心となりイオン新居浜ショッピングセンターで「糖尿病、治療して防ごう脳卒中・心臓病」と題した第二回糖尿病週間行事を行いました。十一月二十六日には第二回医療事故防止講演研修会をリーガロイヤルホテルで行い、近年頻発する医療事故防止にむけて職員一同心新たにいたしました。

さて近年医療の進歩は目覚ましく、遺伝子解明や病因究明は進み、斬新的な治療法も生まれ、人類は今にもあらゆる疾病を克服するのではないかと錯覚させられます。しかし実際は克服されたと考えられていた結核の散発的な発生や、絶滅したとされる天然痘もテロの危険が言われ、ヒト免疫不全症候群（HIV）は着実に増加を続けています。インフルエンザや重症急性呼吸器症候群（SARS）の流行も懸念されます。これら感染症のみでなく、がん治療

小児救急、医療事故、医師の研修、医療制度改革等々、医療を取り巻く環境は複雑かつ解決困難な問題をまだまだ数多くかかえております。そうした中で皆様方の当院に対する期待がひしひしと感じられ、責任の重さを痛感しています。

当院は、地域密着型の病院として、疾患全般の標準的医療を提供しておりますが、小児救急を含む救急医療に関しましては医師会・地域医療機関とも協力し、地域の皆様が安心して体制を構築すべきと考えています。また当院として特に力を注いでいる、がん治療専門部門、新生児・未熟児医療、心・脳卒中治療は、更に充実させ地域の中核拠点病因と言えるような、高度な機能を備えるべく鋭意努力しております。

また禁煙支援外来も早急に是非実現させるべく計画しています。

当院では新制度の先取りとして、すでに昨年より研修医を受け入れていますが、本年正式に発足する医師臨床研修制度下で、単独型臨床研修病院（住友別子病院卒後臨床プログラム03041001）に指定され、すでに研修医の受け入れも決定しています。将来の日本の医療を担う若い医師の教育機関としての責任は重いものがあります。

住友別子病院では職員の研修にも力を注いでおり、新しい医療知

識と技術の習得に努めております。それら習得したものを細心の注意をもって適正に使用すること、更に新たに進歩した高度医療機器については更新を行い、より確実でより安全な医療を皆様方にご提供することを、最重要課題と考えています。

当院が日本医療機能評価機構の認定を受けて早くも三年になるうとしています。その認定に恥じないよう努力していますが、二年後には更新時期がせまってくるっており、次回更新では更に高い多くの要件をクリアする必要があります。それらに対応することが、当院の地域における使命に合致するものと考えています。

病院はホームページをより充実させるなど多方面の情報を適切に開示する必要性を認識しています。そして皆様方との緊密なパートナーシップが更に安心で安全な医療の提供に繋がるものと考え、徹底したインフォームドコンセントを行い、納得し信頼していただける医療機関として、発展を続けていく所存です。今後ともご支援ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のご健康とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

看護研究 看護研究員から私達の頑張りと取り組みをちよつと紹介させていただきます

看護研究委員長 薬師神 和子

澄みきつた青空、錦織りなす山々を背に受け愛媛県立科学博物館を会場に、十一月三十日（日曜日）の貴重な休日、看護師二百名余りと院内職員多数の参加のもと、第十六回住友別子病院看護部看護研究発表会が開催されました。「看護研究したものが患者様の看護に生かせる」と言ひ委員会目標を受け、研究テーマは、各職場における看護ケアの向上患者様や御家族に対して安心していただける精神的援助、安楽な体位の保ち方、呼吸介助、介護用具の工夫等々に取り組

む中で、疑問に思つた事や改善したい事に焦点を当て、看護の専門性の向上を図り、良質で安全安心して頂ける看護が提供できるようにと研究に取り組んできました。今年は各部署からの研究十三題の発表となりました。

緊張した空気の中、研究の成果が堂々と発表され、熱気溢れる質疑応答が繰り広げられ一年間の看護への重いが一挙に噴出したかのようでした。今年の三月から当院はオーダリングが始まり定着してまいりましたその流れを受けて、発表に

もパワーポイントを使用する等、看護面でもIT化が進んでいます。また、井の中の蛙にならないように、三島看護専門学校講師三名による、学術的立場からの講評とアドバイスをいただきました。これらを明日からの看護に反映し精進していきたいと看護職一同心に刻んで閉会しました。

今後とも、患者様からのご意見を新たな研究への気付きとさせていただきます。と考えていますので宜しくお願いします。（平成十五年十一月十日）

第2回 医療事故防止 講演研修会が開催される

高度な医療技術の発達、多種多様な薬の開発、病気に対する知識の普及等、医療の現場はひと昔前とはガラリと変わってまいりました。

近年、医療事故ニュースが毎日のごとく新聞、テレビ等で報道されており、医療機関で働く者にとっては、心が痛む社会問題と感しております。

「人間は、過ちをおかす動物である」と言われておりますが、当院でも他人事ではなく、日々の対策で医療事故を起こさないようにと努力しております。

その中の一つとして、昨年に引き続いて今年も院外より専門の講師をお招きし、十一月二十六日（水）午後六時三十分より、リーガロイヤルホテル新居浜にて講演研修会を開催いたしました。

講演では、医療過誤紛争をめぐる現状から、事

故が病院に与える影響、法的社会的責任までわかり易く話されました。また事故を起こさないための各自の役割から体制の構築や不幸にして起こった場合の対応等の話があり、緊急時の対応として応急処置を実施しながらの家族への状況報告をする事の難しさなど教わる事が数多くありました。

参加者は、一五五名と多数で、一日の業務を終えての受講で疲れがあつたであろうと想像されるにも関わらず、事故防止の取り組みへの熱い思いで午後八時十分講演終了まで熱心に聴講する姿が印象的でした。今回の受講で得た事を今後の取り組みに活かし、病院職員一同が一丸となって医療過誤防止に向けて取り組んでいく決意を新たにいたしました。

危機管理委員会より

師長紹介



14病棟
守谷師長

- Q1. 看護師になった理由は？
四姉妹で、自立できる職業を身に付け、両親を安心させたい。
- Q2. 趣味（特技）は？
編み物 旅行：見るだけでなく、観る物は何でも見てみたい。
- Q3. 得意料理（その評判）は？
お母さんの茶碗蒸はメチャいける。
- Q4. 苦手なもの（その理由）は？
想いが上手く喋れない。
- Q5. 今一番欲しいものは何？
安らぎ
- Q6. 仕事をする上での信条は？
気遣い、気配り、言葉かけ
- Q7. 看護師になって一番心に残っている思い出は？
三十五年前、退院指導した患者F様。一生懸命だけの私に、「命も大切だが生活する上でお金も大事」と怒らせた。九年前、「あの時は大変世話になった」と活きエビを、御夫婦で家まで持参して頂いた。喜びが溢れた。
- Q8. 看護師としての目標（夢）をお聞かせください。
自分より優れた看護師を育てたい。自らの看取りはその看護師に委ねたい。



15東病棟
井本師長

- Q1. 看護師になった理由は？
早く自立し、母を楽にしてあげたかった。（6ヶ月の時、父が他界。働く母の姿しか見たことがなかった）
- Q2. 趣味（特技）は？
若い頃は手芸にこつていましたが、今は元気なごとなか？（インフルエンザも寄りついてくれません）
- Q3. 得意料理（その評判）は？
子どもの成長期にはいろいろチャレンジしました。チーズたっぷりのグラタン等は好評でしたよ。（今は主婦してませ〜ん）
- Q4. 苦手なもの（その理由）は？ 爬虫類
- Q5. 今一番欲しいものは何？
一人しかない姉が子宮癌と戦っています。元の元気な体に回復する事。
- Q6. 仕事をする上での信条は？
常に努力、プラス思考、人の痛みがわかる。
- Q7. 看護師になって一番心に残っている思い出は？
中学入学の前日、白血病で入院した男児が六月半ばに亡くなりました。一度も袖を通さなかった詰め襟の学生服を着せて帰りたいと希望。四苦八苦しましたが、念願がかなった時は、母親と一緒に泣いてしまいました。（息子もその年に詰め襟を着て入学。頼もしく見え感激したので、どうしても着せてあげたかった）
- Q8. 看護師としての目標（夢）をお聞かせください。
患者様が安心して入院生活を送れる環境づくりに努め、この病院を選んで良かったと思える看護を目指す。



手術室
藤枝師長

- Q1. 看護師になった理由は？
高校の部活動で、腰と足を痛めりハビリに通っている時に、医療関係の仕事に就きたいと思ったのと、恩師の勧めで決めました。
- Q2. 趣味（特技）は？
スポーツ観戦、球技ならするのも好きです。
- Q3. 得意料理（その評判）は？
煮込みハンバーグ。子供達には「おいしい」の評価、休暇で帰った時、いつもリクエストになります。
- Q4. 苦手なもの（その理由）は？
音痴なので、歌うのが苦手です。
- Q5. 今一番欲しいものは何？
長期休暇、旅行に行きたい。
- Q6. 仕事をする上での信条は？
公私の区別をつけ、患者様のプライバシーを守る。
- Q7. 看護師になって一番心に残っている思い出は？
新人の時、重篤な喘息発作を起こした人に直面したときの看護の戸惑いと、改善されて一緒に喜び合えたこと。
- Q8. 看護師としての目標（夢）をお聞かせください。
質の高い看護サービスを提供する事と、「ともに見つけ合い、支える」信頼性のある看護者でありたい。



皆様、ありがとうございました。

糖尿病センター

糖尿病週間行事報告

第三十九回全国糖尿病週間（十一月三日～九日）には、「糖尿病、治療して防ごう脳卒中・心臓病」をメインテーマに全国で多くの行事が開催されました。当院でも、昨年と同様に十一月四日～八日までの五日間、イオンショッピングセンターくすのき広場で、「糖尿病と心臓病をテーマにして、心臓病（動脈硬化、狭心症、心筋梗塞）に関するポスターの掲示とパンフレットの配布、各種相談（看護、服薬、栄養）、血圧、血糖、動脈硬化度の測定を行いました。期間中、約三五〇名の方においでいただき、皆様より、「昨年、自分



の体の具合を知ることが出来たので、今年も是非にと思っていましたので。」「病院に行くのは少しおっくうで、いつも気になっていたの。」「お買い物に来たついでに気軽に自分の健康状態がわかりよかったです。」「これを機械に健康状態に気をつけようと思います。」「健康について不安でしたが、勉強になりうれしく思いました。」「今後もこ

ういった行事を続けてほしい」などのお声を直に聞くことができました。皆様の健康に対する関心の高さにうれしく思いましたし、私たちの今後の活動の励みにもなりました。

今回の行事を通じて、「狭心症」などの心臓病の発症には、生活習慣病（糖尿病・高脂血症・高血圧・高尿酸血症・肥満）が深くかかわっており、予防のためには、食生活（塩分、糖分、脂肪分を取りすぎない）、バランスのよい食事をする）、適度な運動、禁煙、



飲酒（大量飲酒を避ける）、休養（ストレスを避け、規則正しい生活を送る）など生活習慣を改善することが大切であることがわかりました。寒い日はまだまだ続きますので、皆様もお身体にはお気を付けてください。
住友別子病院糖尿病センターでは、今後とも、地域に密着した活動を通じて、皆様の健康管理に少しでもお役に立ちたいと思っております。最後になりましたが、今回の行事にご協力、ご参加くださりましてありがとうございます。これからもよろしくお願致します。